

令和3年度 和光市立新倉小学校 第3回 学校運営協議会議事録

1 開催日時 令和3年12月15日（水曜日） 10:00～11:30

2 場所 和光市立新倉小学校 校長室

3 出席者 宇部 章子 林 房夫 花谷 佳弘 大川 浩史
土井 純子 片山 義久（出席者6名 欠席者5名）
島崎 秀（事務局）

4 【協議内容・報告】

(1) 令和3年度（4月から12月上旬）の教育活動報告（教頭より）

- ・パワーポイントを利用して約40枚の写真集を作成し、スライドショーで提示

(2) 生徒指導・職員の状況報告（校長より）

- ・1年生の現状について（学習規律や生活きまり等を中心に報告）。
- ・6年生の状況について全体的には落ち着いて授業を受けているが、教育相談員やスクールカウンセラーとの面談を実施する児童や保護者もいる状況。
- ・教職員の状況として、健康面、精神面共に良好である。今年度は、働き方改革の視点からも教職員への負担軽減策として学年だよりと学校だよりの一本化、学年会や校務分掌の打ち合わせや会議が多いので、ノー会議ウィークを設け、一人で働く時間（黙職）を設けるように指示している。
- ・学校だよりと学年だよりの一本化については、毎月楽しみに拝見している。各学年の様子がよくわかり、負担軽減できて、さらにわかりやすく見やすいお便りになったと思う。（委員全員同意見）

(3) 学校から委員さんへのお願い

- ・登下校についての見守り活動とその他、コロナ禍においてご協力いただけることはないか。
- ・見守り活動については、協力できる範囲で行うが、コロナ禍における学校への協力については、具体的なアイデアがない。

(4) その他

- ① 学校評価について委員の皆さまに近いうちにご依頼をすることを周知し、コロナ禍であっても学校として以下の点を意識した教育活動を実施してきた。
 - ・授業の振り返りを大切にしている。
 - ・ICTを活用した各種集会の実施。

- ・PTA 園芸部、栽培委員会の子供たちを中心とした日常の教育環境の整備。
 - ・学力学習状況調査結果の分析により習熟度別に算数教室の実施。
 - ・新倉小学校「生活の約束」と「学習の約束」を提示し、休み時間と授業中のメリハリのある教育活動を実施。
 - ・PTA 活動の創意工夫について、コロナ禍であっても PTA として協力できることを学校と話し合い、活動を継続。(会議等は ZOOM を活用し実施)
 - ・ホームページの更新やさくら連絡網によるメール配信により保護者や地域の方々への情報発信を実施。
- ② 漢字検定について
- ・令和 4 年 1 月 29 日 (土) 10:30 より新倉小学校にて実施予定。「みんなの漢検」として児童だけではなく、保護者や地域の方々の参加を呼び掛けている。委員の皆さまも是非。保護者のボランティアが十数名集まったので試験監督を要請する。
- ③ 令和 6 年度に迎える『開校 150 周年』に向けて委員の皆様へ協力の依頼。
- ・どこの地区も周年行事については、学校運営協議会が中心ではなく、PTA が中心になって推進しているようだ。新倉小学校の過去の歴史を見ても歴代 PTA 会長が中心となって話を進めている。
 - ・近いうちに現 PTA 会長から歴代 PTA 会長には連絡をとり、話を進めていく。
 - ・令和 6 年度であっても次年度から組織を作って少しずつ動き出した方が良い。
- ④ CS ディレクターより研修会の報告
- ・学校運営協議会の存在意義について (地域の担い手としての子供たちを育成。教職員の任用に関することを市教委へ意見具申等)
 - ・以前の学校評議員との区別化 (地区社協がない地区の学校は要注意。)
 - ・委員と教職員との距離が遠い。(新倉小では職員室内に写真を提示し、学校だよりで委員の紹介をしている。)
 - ・辻校長先生から CS の動き方については、どのような児童を育てたいかを学校と情報共有することが大切である。
 - ・10月30日に実施された広沢小学校における拡大学校運営協議会に参加したが、教職員の子供たちに対する情熱を是非、地域に広めたいと感じた。学校には、地域人材の活用など社会的な資源を含め有効に活用してもらいたい。教職員から要望があればできる限り協力したい。

5 次回は 2 月 15 日 (火) 10:00 新倉小学校校長室にて実施予定を確認